

蜂谷戸防災かわら版

第16号

自分の命は自分で守ろう！

「近助」と「自守防災」！

平成27年4月3日

小川自治会

蜂谷戸支隊

情報・広報班

今回は特集として、自主防災隊の平成26年度活動実績を報告します。
そのため、連載中の”防災豆知識“と”役に立つ防災ノウハウ“のコーナーはお休みさせていただきます。

〔特集〕 平成26年度・自主防災隊・活動実績

< 自主防災隊全体の主な活動 >

1. 「あなたと家族の安全ノート」改訂版を発行し、全世帯に配布しました

2. 「非常時の対応・体制ガイドライン」を作成しました

- ・非常時における災害対策本部の役割や体制を中心に、非常時の基本方針・行動を定めました。
- ・また、「防災アンケート」や「安否確認カード」等の標準フォーマットも定めました。

3. 「総合防災訓練」を充実しました

- ・今回は、スタンドパイプ放水訓練や煙体験、防災用品展示等を初めて実施し訓練の充実を図りました。

4. 防災装備を充実しました

- ・スタンドパイプを5台購入し各支隊に配置しました。
- ・非常時用トランシーバーを4台購入、テストを実施。今後本部・各支隊・青パト隊に計13台を配備の予定です。

5. 活動マニュアルを整備しました

- ・各種マニュアルの体系や管理方法を定めると共に、優先度の高いマニュアルを新しく制定しました。
- ・これまで発行されているマニュアルをまとめて各支隊へ配布しました。

< 蜂谷戸支隊の主な活動 >

1. 防災アンケートを実施しました

- ・活動隊員募集、家族構成、防災準備・備蓄状況の3点について防災アンケートを実施しました。
- ・特に家族構成の回答分析により、年齢や平日昼の人口構成、要援護者等大変貴重なデータを得ることができました。
また、これらのデータを基に従来よりも詳細な地区内被害想定を行うこともできました。

2. 非常時用の「被害・安否確認リスト」及び「要援護者リスト」を作成しました

- ・安否確認については、非常時に確認しやすいよう、事前に分かる項目を「安否確認カード」に記入しました。
- ・要援護希望者については、個別に各家庭を訪問して要援護の状況や希望を直接伺い、リストを作成しました。

3. 非常時に備えて実践的な訓練を初めて実施しました

- ・消防署の指導の下、簡易消火装置である「スタンドパイプ」による実際の放水訓練を初めて実施しました。
- ・総合訓練に合わせて、負傷者を担架やリヤカー、車椅子で救出する「救護・避難訓練」を初めて実施しました。

4. ブロック別全員懇談会を実施しました

- ・昨年、非常時における”近助“のベースとして5つのブロックを設けましたが、このブロック別に全員が顔を合わせる懇談会を初めて実施しました。

5. 防災ビデオ映写会を開催しました

- ・防災に関するテレビ番組等のビデオ映写会を行いました。

6. 「蜂谷戸防災かわら版」を毎月1回各家庭に配布しました

- ・昨年1月に創刊した「蜂谷戸防災かわら版」を毎月1回継続発行し、独自回覧網を通じて各家庭に配りました。